

令和3年3月22日(月)

令和2年度 第3回高知市まちづくり活動検討委員

～ 前回までのふり返し ～

## 1 R2.7.27 第1回検討委員会が出された意見整理等

### (1) 検討委員会の中で協議しまとめていく事柄

- ・高知市の思い描く市民活動の未来を実現するために達成すべきポイントを整理し、まちづくりファンド（以下まちファン）の仕組みをデザインする。
- ・資金調達手段が多様化（クラウドファンディング等）する中で、まちファンの役割を明確化。
- ・まちファンのニーズに関する分析や、目的を見直し、検討委員で共通認識を持つ。

### (2) 今後のまちづくりファンドの在り方の中での課題

- ・見守り委員会から出された提案の検討。
- ・公金を使って行われているまちづくり活動であり、皆がまちファンの活動に参加しているということに関する市民への意識づけを図る。
- ・自由度が高く、活動の幅が広い反面、審査や活動に関するポイントが絞りづらい面もある。
- ・ファンド資金の使途の多様化（広報費等）を図る。
- ・こどもファンドとの関わり方の検討。
- ・行政の補助金でカバーできない団体や活動を拾っていく。

### (3) 成果物（答申書）の作成

## 2 R2.9.28 第1回勉強会が出された意見整理等

### (1) 答申書の構成について

- ・ファンドのグランドデザインを描いていくのであれば、助成団体を交えての座談会は必須。
- ・座談会のテーマについて「行政と団体の繋がり」の横軸と「こどもファンド利用者やまちファン利用者や地域との、世代の繋がり」の縦軸から考えてはどうか。
- ・前回報告書の「事例紹介」と「座談会」を合わせたイメージで開催。メンバー構成は、助成団体・関係する行政機関・検討委員とする。
- ・こどもファンド経験者の田部委員と学生の助成団体による対談を行い、若い世代が活動を継続していくうえで課題となることを考える。

#### 【座談会】（増田委員長・田中委員・中平委員）

- ・高知地域猫の会×生活食品課×3委員
- ・はるのあじさいコミュニティクラブ×春野高校教諭×3委員

#### 【対談】（田部委員）

- ・高知のZOU

### (2) アンケートについて

- ・事務局と詳細を詰め、サポートセンターから送付する。（池田委員）

### 3 R2.11.30 第2回検討委員会で出された意見整理等

#### (1) まちファンの継続について

- ・新しく活動が前へ進むことも期待されるのであと1期はやっていただきたい。
- ・人材育成の部分でまちファンは大きな役割を担うので、あと1期は続けるべき。

#### **【継続していくうえでの課題等】**

- ・高齢者と若者の活動をつなげていく世代の育成（移住者の活用等）。
- ・活動を継続するかどうかについて、縛りが多いとファンドの良さがなくなる可能性（単発の活動も認めていく）。
- ・まちファンを続ける中で今後のキーワードの一つとして「多様性」がある。「何をもってまちづくりとするか」は変わってきてもいい時期。

#### (2) 広報の仕方について

- ・具体的にわかりやすく興味を引くような広報を行うなど、広報の仕方を工夫する。
- ・ファンドも3年で卒業なので、広報誌も3年に1回くらい見直していく。卒業団体にも次の回に登場してもらうなど、広報誌を活用するほか、インターネットやSNSも活用。

#### (3) 公開審査会について

- ・福祉関係の団体等から、公開審査会に出づらいという意見が出た際の対応を考える必要がある。
- ・審査員が定期的に変わっていくのもだいじなこと。

#### (4) 助成金額について

- ・「たまごコース」「はじめの一步コース」については増額も検討して良いのでは。

#### (5) 寄附について

- ・企業にしても個人にしても、寄附をするメリットを明確にする必要があるのではないかな。
- ・活動をやめた後にお金が残って困っている団体に寄付の周知ができれば、お互いに助け合えるのではないかな。

### 4 R3.1.27 第2回勉強会で出された意見整理等

#### (1) 答申書の構成について

#### **【対談・座談会】**

- ・記事をもう少し簡潔に、文字を大きく。
- ・助成を受けたことで出た成果、個人・団体としての成長をきちんとフィードバックしていくことで、市民にとってもまちファンの必要性の説明になり、また、自分のやりたいことがこのように成果となり、さらにそれが端的に見えること自体がインセンティブになる。その点を報告書の中に入れ込んでいただきたい。

#### **【7. まとめ ~今後のまちづくりファンドの在り方~】**

- ・まず課題と方向性を示し、それを踏まえたうえで最後にまとめを持ってきた方が良いのでは。
- ・課題についてはもう少し細分化し、「知名度の向上」については課題の項目の一つとして抽出し、「広報活動」の具体的な案を方向性等に入れていく。
- ・今年度内にまちファンのホームページを新設することもあり、「広報」についてより掘り下げて、現在の取り組みを具体的に書けるのではないかな。

#### (2) その他意見について

- ・対談・座談会の記事を、広報活動へ活かしていくなど、答申書の内容を広く市民の方の目に触れるようにしていく。
- ・まちづくりは市にやってもらってあたりまえ、ではなく、自分たちでやっていくもの、その中でまちファンが一つの方法手段であることが分かると良い。
- ・SDG s の推進についてもまちファンと絡ませたいけるのでは。